



衆議院議員 田中けん 始動！！



10月31日に投開票が行われました第49回衆議院議員総選挙で、国民民主党公認で立候補した田中けん候補が、比例代表・東海ブロックから初当選を果たしました。岸田内閣発足直後という、いわゆるご祝儀相場が与党側に期待された大変厳しい状況の中、田中候補は、清水区、富士宮市、旧富士川町を精力的に細かく周りながら政策を訴えるとともに、ご推薦頂いた連合静岡等の支援団体や、玉木雄一郎代表、榛葉賀津也幹事長ら国民民主党幹部の応援を受け、国政挑戦3度目にして念願の衆議院の議席を獲得しました。

11月6日に総務省で当選証書を受け取った田中けん議員は、特別国会が召集された11月10日に初登院。静岡県内で今回、唯一の初当選議員である田中議員は、国会議事堂正面で多くのメディア各社から取材を受け、報道されました。

「ふるさとに戻り5年半。苦しいときも辛いときも、諦めることなく一緒に歩いてくれた皆さんのおかげで当選できた。コロナ禍で失われた希望ある暮らしを取り戻すために、皆さんの声を国会に届けるために、全力で頑張りたい」と、田中議員は決意を新たにしています。

田中けんプロフィール

1977年旧富士川町生まれ。静岡県立富士高等学校卒、青山学院大学経済学部卒。第一勧業銀行勤務。大田区議会議員1期、東京都議会議員2期務める。2021年衆議院議員初当選。家族は妻、息子（4歳）、チワワ。

★国会事務所は以下の場所になりました。是非お越しを！

〒100-8981
東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 712号室
TEL 03-3508-7190
FAX 03-3508-3620



コロナ禍で失われた 希望ある暮らしを取り戻す!



希望ある 生活を 取り戻す!



- 新型コロナ対策には、行き過ぎた行動制限の繰り返しではなく、医療体制の拡充が不可欠です。保健所機能強化、国公立病院の患者受け入れ拡大、民間病院の受入指示法制化等により、来たる第6波に備えます。
- 家庭内感染や重症化を防ぐために、抗原検査キットを全家庭に配布することで「無料自宅検査」を可能にします。
- コロナ禍の影響が収束し経済が回復するまでの間、消費税減税と税・社会保険料の猶予・減免措置を行うことにより、厳しい状況にある個人や事業者を支えます。
- 世代間公平とともに最低保障機能を強化した新しい基礎年金制度への移行を検討し、現役世代、将来世代を支えます。

田中けん衆議院議員
の政策を紹介します。



希望ある経済を 取り戻す!



- 事業の継続が困難な中小個人事業者を支援するため、業種や地域を問わず、家賃や光熱水費等の固定費を最大9割まで減収補てんします。
- 中小企業が正社員を雇用した場合は社会保険料負担を半減、賃金を上げた場合は法人税減税や賃金補てん制度で支援することにより、給料の上がる経済を実現します。
- 下請け保護制度や事業承継制度など、中小企業支援策を強化します。
- 民間のデジタル、環境分野への投資を加速するため、取得以上の減価償却を認める「ハイパー償却税制」を導入します。

5つの政策



希望ある地域を 取り戻す!



- テレワークなど新しい働き方の広まりや、中部横断自動車道の開通で交通アクセスが良くなったことは、清水・富士宮・富士川にとって大きなチャンスです。清水区で構想中の新スタジアムを中心とした観光・防災・地域の賑わい創出、富士宮市北部地域の歴史・自然を活かした観光促進等の取り組みを強力に支援します。
- 富士川の水は命の水、桜えびは自然の恵み。海の問題は、川、森、そして人の問題です。富士川流域の河川環境改善を進め、かつての水環境を取り戻します。
- 土石流災害を防ぐために、発生、搬出、処理の行程管理と罰則の法制化により、残土発生者の責任を明確にし、危険な盛り土を撲滅します。

希望ある人づくりを 取り戻す!



- 生まれた環境による機会の不平等を無くし、すべての子どもが人生の平等なスタートラインに立てるよう、義務教育を3歳からとし、高校までの教育無償化を実現します。
- 大学の授業料を減免し、返済不要の給付型奨学金の拡充を実現します。
- 雇用のセーフティネット強化と職業訓練の充実により、成長分野への人材移動と集積を進めます。

希望ある政治を 取り戻す!



- 「森友・加計問題」で発覚した公文書の改ざんや破棄、公務員による隠ぺいは、民主主義を脅かす問題です。罰則導入等、公文書管理の厳格化を進めます。
- 被選挙権年齢を、衆議院議員18歳、参議院議員25歳に引き下げ、女性候補者比率35%以上を実現するとともに、インターネット投票の導入を進めます。
- 「LGBT差別解消法」の成立、「障がい者差別解消法」の実効性のある運用、選択的夫婦別姓制度の導入を進め、多様性を認め合う自由で寛容な社会の実現を目指します。